

## 6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます

いよいよ大寄小学校ともお別れの日になってしまいました。小学校6年間はどうかだったでしょうか？

6年前、新しいランドセルを背負って入学してから6年という月日が過ぎました。皆さんは心身ともに成長できました。そして、本日大寄小学校を背負っていきます。ご卒業おめでとうございます。

私は、皆さんと一緒に生活したのは最後の1年間だけでしたが皆さんがリーダーとして活躍してくれて本当に助かりました。4月の準備登校で初めて会ったときには、準備や呼びかけなどやや心配するところがあり、やり直しをお願いしました。あれから1年間、皆さんはこころの面、からだの面ともにたくましく成長しました。そのおかげで大寄小学校も大きく成長することができました。

本当にありがとうございました。



### まとめとスタートの3学期



### 3学期は

### もう一度

### かたちとなかみをつくろう

かたち あいさつ 無言整列 落ち着いて取組む

なかみ 思い続ける 気持ちを入れる

信じて「ひとつ前進」

卒業に当たり6年生に  
メッセージを贈ります。

一つ目は【まごころと思いやりの気持ちを持つ】です。今、みなさんにとってこの言葉はどんな意味を持つのでしょうか。国語や算数の勉強と同じように小学校からずっと学んできたことです。3学期にふると先生の道徳授業がありました。その中で郷土の偉人渋沢栄一翁が生きていく上で最も大事にしてきた言葉でした。さて、4月から始まる中学生活では一人一人が「少しの努力」をすることで、仲良く・賢く・楽しい学校生活を送れます。「少しの努力」というのは、相手が何を思っているのかわかるように努めることです。ぜひ、それをイメージし、意識した生活を心がけてください。

もう一つは【もう一度かたちとなかみをつくろう】です。先生がずっと大事にしてきた言葉で、昨年度はたくさん活用しました。改めてみなさんにとって「かたち」は？と問われると「はい、〇〇です」とすぐに答えるみなさんの表情が目につきます。あいさつ（日本一）・無言清掃・無言整列・・・たくさん学びました。しかし、お願いしたいのは「今、自分で意識しているものがある」ことです。そして、「なかみ」については気持ちを入れることの大切さにも触れました。というのも、中学校生活では勉強も部活動も自分の思い通りにはいかないことが多いと思います。「思い続ければ百パーセント達成できる」（中林先生）「生きる力とは、失敗や困難を乗り越える力」（松井選手）とあるように「なかみをつくる」ことは、不可能でなく、求められる力になるはずで。一つのことに努力を惜しまず気持ちを入れ続けてみてください。きっと成果は表れるはずで。中学校でも活躍してくれることを期待します。

### 3月はたくさんの最後の行事がありました

#### 3/1(金) 今年度最後の読み聞かせがありました



今年度最後の「にじいろの会」の皆さんによる読み聞かせが8：15～8：30各クラスで行われました。どのクラスの児童も集中して聴いていました。1年間子どもたちの豊かな心の醸成にご協力いただきありがとうございました。

#### 3/2(土) 6年生を送る会がありました



#### 思いやりのある子

第2時～「6年生を送る会」が行われました。代表委員と児童会を中心に会が進められました。各学年の出し物を発表し、6年生に対する感謝の気持ちを伝えました。具体的には、全校合唱「ビリーブ」各学年の創意工夫した出し物、劇、替え歌、体育祭で披露した演技、楽





器の演奏、メッセージ・・・みていてとても楽しく児童は一生懸命に役に徹していました。6年生からはこれまでふりかえり、合奏、組体操、感謝のメッセージがありました。大成功の「6年生を送る会」になりました。途中先生方による嵐のダンスも大成功でした。



### 3/5(火) 全校朝会(表彰も含め)がありました

全校朝会での講話内容です。「本物はつづく つづく和本物になる」



たくさんの表彰がありました。素晴らしい成果に対して拍手を送ります。それ以上に呼ばれたときに大きな声でハイと返事ができたことはとてもうれしかったことです。さて、先週は登下校において、ものを壊したり迷惑をかけ注意をされたことがありました。また、今朝体育館での集合の様子もざわざわしてよくありませんでした。2月児童

会が主催した生活改善キャンペーンのひとつに無言整列がありました。覚えていますか。先生に言われたときだけやる、見ているときだけでできたのでは「自分でやる」姿は本物ではありません。本物でないと続かないですし、気持ちが本物でないとすぐに楽な方へ流されて忘れてしまいます。あとわずかになりました3学期 ひとりひとりが本物に近づけるよう頑張りましょう。まずそう思うことから始めましょう。主な表彰は 持久走大会 なわとび大会 読書感想文 かきぞめ展 美術展 歯科保健コンクール給食ポスター きらきらアート展 スポ少

### 3/6(水) 第4回避難訓練(不審者対応)がありました



今回は不審者が校内に侵入した場合を想定して行われました。実際には先生方の不審者への対応の仕方について深谷警察署の方からご指導を受けました。体育館に避難した児童に対して命は一つしかないこと、危険に遭遇したら声を出すことの大切さについても説明いただきました。なお、日頃の取組では大寄小では職員玄関北口は始業後施錠しています。また、職員室には玄関付近の様子を職員室のモニター画面に写しています。



### 3/7(木) 中学生メッセージの会がありました



6時間目に大寄小の卒業生で深谷中の3年生5名と中学校の先生が来校しました。あらかじめ6年生から中学校での生活などについて聞きたいことなどを質問するなどのやりとりが行われました。久しぶりに会った卒業生に全く別人のように立派になったといっていました。



がんばりぬく子

### 3/12(火) 最後の調理実習がありました



1、2時間目は家庭科の時間は最後の調理実習でした。各班で考え計画したサンドイッチ作りでした。どの班もとても協力しおいしそうでした。最後に感謝の気持ちを込めて先生方へサンドイッチとメッセージ、家庭科で作成したコースターのプレゼントもありました。ありがとうございました。



### 3/12(火) バイキング給食がありました



この日の給食はABCルームにてバイキング給食を実施しました。事前指導にもありましたが栄養士の湯澤先生の指導でカロリー計算をしてメニューを選ぶものでした。たくさんの料理が準備され、子どもたちの顔は笑顔いっぱいでした。卒業する6年生に喜んでもらいたいと栄養士さんと調理員さんが一生懸命準備していただきました。ありがとうございました。



### 3/1(金)～14(木) 6年生との会食がありました

校長室にて6年生との会食を8回行いました。話題は中学校に向けての内容、学習、生活、部活動、きまり・・・をメニューにして選びやりとりするかたちで楽しく会食できました。子どもたちもとても礼儀正しく、中学校での生活イメージしている児童の様子を感じました。中学生になったら周りからどのように見られたいかという質問では「頼りになる」と答えてくれた人が多かったです。どの班も時間も足りないくらいの一時でした。



### 3/9(土) 第3回資源回収がありました

地域の皆さんにはたくさんの資源を提供していただきありがとうございました。収益金は学校教育のために活用させていただきます。

表彰 おめでとうございます

県読書感想文コンクール

年 氏名 6 塚越 智菜 入選賞

| 学校給食週間 |        | 入選賞 |       |
|--------|--------|-----|-------|
| 年      | 氏名     |     |       |
| 4      | 小暮 凧   | 4   | 小松 美結 |
| 1      | 桑原 琉海  | 5   | 井上 雅斗 |
| 1      | 腰塚 希愛  | 5   | 桑原 未来 |
| 2      | 江原 晃   | 6   | 小暮 大翔 |
| 2      | 茂呂 麻央  | 6   | 中山 椋太 |
| 3      | 荻野 蒼志郎 | けやき | 小暮 逸仁 |
| 3      | 田那部 滯  |     |       |

## がんばりぬく子

### 2/5延期した児童集会



日頃お世話になってい  
る給食調理員さん栄養  
士の先生に感謝する会を給食委  
員と児童会で進めました。



### 2/1 1年生の「昔遊び」授業

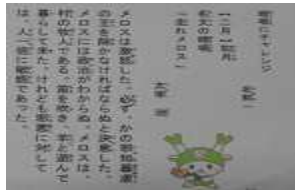
保護者の  
皆様や地域の皆さんに  
お手伝いいただき、日本  
古来の伝統的な遊びを知り、こつ  
や遊び方を教えていただきました。



2月の大寄小



幼稚園跡地の芝生化工事



暗唱2月「走れメロス」



あいさつ運動



朝の安全見守り

## よく考える子

2/24樹木の伐採

2/27深谷ライカス クラブ 贈呈式

深谷ライカス クラブ 様よりサッカーボールあいさつ、見守り等について  
3個を贈呈していただきました。 トーク形式で協議をしました。  
ありがとうございました。 ご意見ありがとうございました。

2/28第3回学校運営協議会



3月

2/5尺八の演奏（5年音楽）

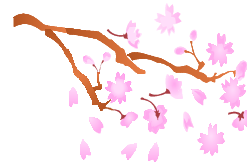


3月はたくさんの最後の行事がありました



第1週3月4日～8日は  
あいさつ運動週間





一つ目は【まごころと思いやりの気持ちを持つ】です。今、みなさんにとってこの言葉はどんな意味を持つのでしょうか。国語や算数の勉強と同じように小学校からずっと学んできたことです。3学期にふるさと先生の道徳授業がありました。その中で郷土の偉人渋沢栄一翁が生きていく上で最も大事にしてきた言葉でした。さて、4月から始まる中学生活では一人一人が「少しの努力」をすることで、仲良く・賢く・楽しい学校生活を送れます。「少しの努力」というのは、相手が何を思っているのかわかるように努めることです。ぜひ、それをイメージし、意識した生活を心がけてください。

もう一つは【もう一度かたちとなかみをつくろう】です。先生がずっと大事にしてきた言葉で、昨年度はたくさん活用しました。改めてみなさんにとって「かたち」は？と問われると「はい、〇〇です」とすぐに答えるみなさんの表情が目につかびます。あいさつ（日本一）・無言清掃・無言整列・・・たくさん学びました。しかし、お願いしたいのは「今、自分で意識しているものがある」ことです。そして、「なかみ」については気持ちを入れることの大切さにも触れました。というのも、中学校生活では勉強も部活動も自分の思い通りにはいかないことが多いと思います。「思い続ければ百パーセント達成できる」（中林先生）「生きる力とは、失敗や困難を乗り越える力」（松井選手）とあるように「なかみをつくる」ことは、不可能でなく、求められる力になるはずで、一つのことを努力を惜しまず気持ちを入れ続けてみてください。きっと成果は表れるはずで、中学校でも活躍してくれることを期待します。



一つ目は【まごころと思いやりの気持ちを持つ】です。今、みなさんにとってこの言葉はどんな意味を持つのでしょうか。国語や算数の勉強と同じように小学校からずっと学んできたことです。3学期にふるさと先生の道徳授業がありました。その中で郷土の偉人渋沢栄一翁が生きていく上で最も大事にしてきた言葉でした。さて、4月から始まる中学生活では一人一人が「少しの努力」をすることで、仲良く・賢く・楽しい学校生活を送れます。「少しの努力」というのは、相手が何を思っているのかわかるように努めることです。ぜひ、それをイメージし、意識した生活を心がけてください。

もう一つは【もう一度かたちとなかみをつくろう】です。先生がずっと大事にしてきた言葉で、昨年度はたくさん活用しました。改めてみなさんにとって「かたち」は？と問われると「はい、〇〇です」とすぐに答えるみなさんの表情が目に見えます。あいさつ（日本一）・無言清掃・無言整列・・・たくさん学びました。しかし、お願いしたいのは「今、自分で意識しているものがある」ことです。そして、「なかみ」については気持ちを入れることの大切さにも触れました。というのも、中学校生活では勉強も部活動も自分の思い通りにはいかないことが多いと思います。「思い続ければ百パーセント達成できる」（中林先生）「生きる力とは、失敗や困難を乗り越える力」（松井選手）とあるように「なかみをつくる」ことは、不可能でなく、求められる力になるはずです。一つのことには努力を惜しまず気持ちを入れ続けてみてください。きっと成果は表れるはずです。中学校でも活躍してくれることを期待します。

一つ目は【まごころと思いやりの気持ちを持つ】です。今、みなさんにとってこの言葉はどんな意味を持つのでしょうか。国語や算数の勉強と同じように小学校からずっと学んできたことです。3学期にふるさと先生の道徳授業がありました。その中で郷土の偉人渋沢栄一翁が生きていく上で最も大事にしてきた言葉でした。さて、4月から始まる中学生活では一人一人が「少しの努力」をすることで、仲良く・賢く・楽しい学校生活を送れます。「少しの努力」というのは、相手が何を思っているのかわかるように努めることです。ぜひ、それをイメージし、意識した生活を心がけてください。

もう一つは【もう一度かたちとなかみをつくろう】です。先生がずっと大事にしてきた言葉で、昨年度はたくさん活用しました。改めてみなさんにとって「かたち」は？と問われると「はい、〇〇です」とすぐに答えるみなさんの表情が目に見えます。あいさつ（日本一）・無言清掃・無言整列・・・たくさん学びました。しかし、お願いしたいのは「今、自分で意識しているものがある」ことです。そして、「なかみ」については気持ちを入れることの大切さにも触れました。というのも、中学校生活では勉強も部活動も自分の思い通りにはいかないことが多いと思います。「思い続ければ百パーセント達成できる」（中林先生）「生きる力とは、失敗や困難を乗り越える力」（松井選手）とあるように「なかみをつくる」ことは、不可能でなく、求められる力になるはずです。一つのことには努力を惜しまず気持ちを入れ続けてみてください。きっと成果は表れるはずです。中学校でも活躍してくれることを期待します。

### 三学期修了式の言葉

おはようございます。今日で三学期が終了します。今日は終業式ではなく、修了式です。それは一年間の学習がすべて修了したということです。今、皆さんの代表に渡したのは修了証です。これは、皆さんが一年間の勉強や運動、学級活動などがすべて学び終わりました。そしてそれらを自分のものにすることができましたという証です。明日の卒業式で渡すのは卒業証書です。卒業証書は、六年間の小学校の学習がすべて終わり、小学校を卒業し、次の段階、中学校に進学してもよいですよと言う証です。

今日は修了式なので、皆さんに2つのメッセージを贈りたいと思います。

一つ目は【まごころと思いやりの気持ちを持つ】です。今、みなさんにとってこの言葉はどんな意味を持つのでしょうか。国語や算数の勉強と同じように小学校からずっと学んできたことです。3学期にふるさと先生の道徳授業がありました。その中で郷土の偉人渋沢栄一翁が生きていく上で最も大事にしてきた言葉でした。さて、4月から始まる中学生活では一人一人が「少しの努力」をすることで、仲良く・賢く・楽しい学校生活を送れます。「少しの努力」というのは、相手が何を思っているのかわかるように努めることです。ぜひ、それをイメージし、意識した生活を心がけてください。

もう一つは【もう一度かたちとなかみをつくろう】です。先生がずっと大事にしてきた言葉で、昨年度はたくさん活用しました。改めてみなさんにとって「かたち」は？と問われると「はい、〇〇です」とすぐに答えるみなさんの表情が目につかびます。あいさつ（日本一）・無言清掃・無言整列・・・たくさん学びました。しかし、お願いしたいのは「今、自分で意識しているものがある」ことです。そして、「なかみ」については気持ちを入れることの大切さにも触れました。というのも、中学校生活では勉強も部活動も自分の思い通りにはいかないことが多いと思います。「思い続ければ百パーセント達成できる」（中林先生）「生きる力とは、失敗や困難を乗り越える力」（松井選手）とあるように「なかみをつくる」ことは、不可能でなく、求められる力になるはずです。一つのことに努力を惜しまず気持ちを入れ続けてみてください。きっと成果は表れるはずです。中学校でも活躍してくれることを期待します。

一年間、最上級生としてよくがんばりました。ご苦労様でした。

平成三十一年三月二十日

深谷市立大寄小学校長 相川至宏